

第5学年 総合的な学習指導案

日時 令和6年12月13日(金) 4校時
 場所 羅臼町立春松小学校 5年生教室
 児童 5年生(男子8名、女子9名)
 授業者 教諭 北村 朋也

1. 単元名 「北方領土を調べよう」

2. 単元の目標

- (1) 北方領土への関心を高め、日本固有の領土である事を理解する。
- (2) 北方領土の歴史や返還への取り組みを理解し、自分なりの考えを持つことができるようにする。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○北方領土がロシアとの領土問題であることや、歴史的背景を理解している。	○書籍やインターネット、道立北方四島交流センター「ニホロ」の活用等から必要な情報を集め、自分の考えの根拠としている。	○北方領土の歴史や現在の取り組み、元島民の思いなどの情報をもとに粘り強く学びあっている。

4. 児童の実態

○児童の実態

		質問1 住んでいる地域の歴史や自然への関心		質問2 北方領土についてもっと調べたいか		質問3 北海道や自分の住んでいる地域が好きですか		質問4 住んでいる地域の行事に参加していますか		質問5 ICTを使うのは勉強の役に立つと思いますか		質問6 総合的な学習の時間に情報を集め調べたことを発表する活動に取り組んでいますか	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
選択肢	ア	9	34.6%	10	38.5%	24	92.3%	18	69.2%	19	73.1%	8	30.8%
	イ	11	42.3%	12	46.2%	1	3.8%	7	26.9%	6	23.1%	12	46.2%
	ウ	6	23.1%	4	15.4%	1	3.8%	0	0.0%	1	3.8%	6	23.1%
	エ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%

成果

今、住んでいる地域や北海道が好き

⇒1年生から取り組んでいる知床学により羅臼町の魅力について知る機会が多く、さらに自分の地域や北海道について知り、愛着を深める活動を今後も取り組んでいく。

課題

今住んでいる地域の歴史や自然への関心が低い⇒現状を知り、自分事として捉える活動を行う。

総合的な学習の時間で課題を立て情報を集め、まとめて、発表するが学習活動実感が薄い

⇒北方領土学習の中で、児童が学んだことや調べたことなどを発表する機会を増やすことにより、児童が活動している手応えや実感を持てるように学習内容を工夫する。

5. 指導と単元計画（全18時間）

次	主な学習内容	備考
1	【日本の領域と北方領土の位置】 ・ 国の領域と権利を有する地域の用語と定義とその意味 ・ 我が国の領域の現状と特色、その背景・要因	・ 地理的側面から「領土」に関する理解を深める。 ・ 領土問題の歴史的な背景にも触れ、日本固有の領土である事を意識づける。
2	【北方領土を見に行こう】 ・ 納沙布岬 望郷の家見学	・ 返還運動を盛り上げていく方法に、問題を認識してもらうこと（世論）も大切であることを知り、活動の動機付けとする。
3		
4		
5	【ニホロで取材しよう】 ・ 元島民の話や展示物の見学、取材	・ 北方領土のことを広く知ってもらうための方法と検討と取材活動
6	【「北方領土の日」ポスターを作ろう】 ・ 北方領土の日ポスターの作成	・ 今までの学習を振り返り、自分の思いをポスターとしてまとめる。
7		
8		
9	【北方領土に関するワークショップ】 ・ 語り部さんによる講演 ・ グループワーク	・ 島民2世の話聞き、自分の考えや意見を整理する。
10		
11	【課題を設定しよう】 ・ 今までの活動を振り返り ・ 北方領土問題解決に向けて自分たちに何ができるか考える ・ 北方領土を様々な人に伝えていくための方法を考え、選択する	・ メモや振り返りシートを見ながら今までどんな活動をしてきたか振り返り、復習をする。 ・ 領土問題を自分ごととして考え、今の自分に何ができるか考える。 ・ 自分が探求したい課題について考え明確にする。
12		
本時		
13	【発表するための情報をまとめよう①】 ・ 取材メモなどをもとにまとめる ・ 成果物の作成	・ 自分の興味関心をもったことをグループでまとめ、学校に掲示する成果物を作成する。
14		
15		
16	【発表をまとめよう②】 ・ 成果物を見せ合いながら、プレ発表会を行い修正点を話し合う	・ 北方領土を様々な角度から知り、自分の考えや意見を深める。
17	【発表をまとめよう③】 ・ 調べたことや興味関心があるものを紹介し合い、学習をまとめる	・ 発表会を行い、自分たちの考えや意見を伝える。
18	【発表をまとめよう④】 ・ 単元で学んだことや発表して気づいたことを振り返り、これからの自分の考えを整理する。	・ 活動を通して、見つけた考えや意見を明確にし、これからの生活を考える。

6. 本時案（12／18）

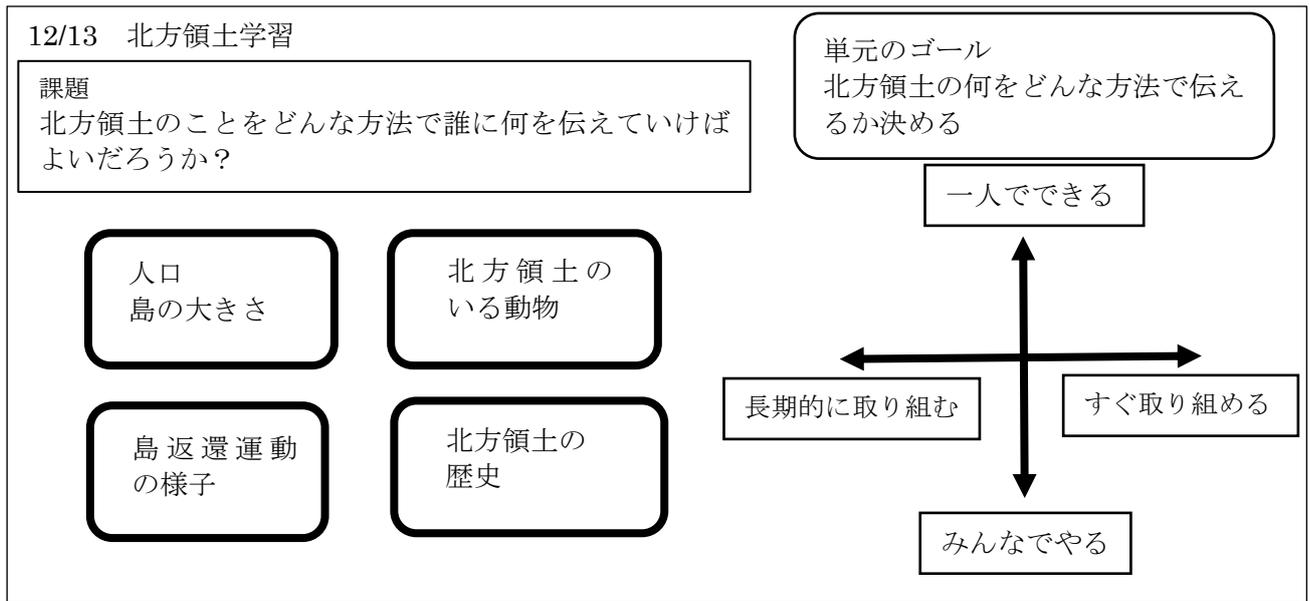
（1）本時の目標

- ・北方領土問題の解決に向けて、今まで携わってきた人の思いや考えをもとに、今の自分が探求していききたい課題を明らかにしている。

（2）本時の展開

時	○学習活動・児童の反応	※留意点 ☆評価
導入 5分	○北方領土問題解決に向けて、自分たちには何ができるか考える。 「自分たちの学んだことをみんなに教えよう」 「祭りなどに出ている署名活動にみんなで参加してみよう」	※北方少年少女塾とワークショップで話していた「北方領土の話」を未来につなげるために色々な人に話してほしい」という言葉を思い出せるようにする。
展開 15分	○本時の課題を見出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 課題 北方領土のことをどんな方法で誰に何を伝えていけばよいだろうか？ </div> ○グループで考え、北方領土について調べたい・伝えたい情報を話し合う。 「人口・島の大きさ」「動物」「北方領土の街並み」 「島返還運動の様子」「北方領土の歴史」 ○それぞれのグループから出てきた内容から自分がこれから調べていききたい内容（課題）を決める。	※単元のゴールである「北方領土の事を様々な人に伝えていく」を全員で共有する。 ※各グループ調べたい情報を短い言葉でまとめる。 ※話し合いがスムーズに進むようにもらったパンフレットやメモなどを見るように声掛けする。
展開 25分	○自分たちが学んできたことを伝えたい人に伝えていくためには、どんな方法があるかグループで考え発表する。 「ポスターを作成する」「北方領土を紹介する動画を作る」 「パンフレットやリーフレットを作る」「クイズを作る」 「各学年の授業で北方領土学習を取り入れてもらう」 ○それぞれのグループから出てきた内容から、自分の調べていききたい内容と誰に伝えるかを意識した上で最適な方法を自分で選択する。 <u>・○○○○で○○○○を○○○○に伝えていきたい。</u>	※自分一人のできる方法 グループやみんなでやる方法 すぐ取り組める方法 長期的に取り組む方法 が書かれたロイロノート十字チャートを活用して、時間がかからず効果が高い方法を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆思考・判断・表現 北方領土問題について、自分事として考え、自分が探求していく課題を明確にしている。（観察・ワークシート） </div>
終末 5分	○ロイロノートを活用し、振り返りを書く。 ・今日学んだことについて ・次回以降の目標について（次時の見通しをもつ）	

7. 板書計画



《児童の活動の良かった点・赤》

《児童の活動の課題点・青》

《アイデア, 改善策・黄》